

令和7年1月27日

食料科学委員会 畜産学分科会（第26期・第5回）議事録要旨

1. 日時 令和7年1月27日（月）16:00～18:00
2. 場所 ビデオ会議
3. 出席 木村直子（二部会員）、栗田浩、内尾こずえ、笠嶋快周、後藤貴文、平井静、松田二子、宮本庸平、安尾しのぶ、山下恭広（連携会員）、小澤壮行（連携会員（特任））

4. 議事

木村直子委員長が以下の進行を務めた。

（1）定足数の確認

出席人数が定足数を満たし、分科会は成立した。

（2）前回（第26期・第4回）の議事録案の承認

第26期・第4回分科会の議事録要旨案を確認後、承認された。

（3）審議事項

A. 公開シンポジウムの企画・実施の進捗状況について

笠嶋委員より、公開シンポジウム「日本在来馬は、どこから来て、どこへ行くのか？」（令和7年3月15日開催予定、オンライン）に関する開催準備状況が共有された。開催に向けた実務担当等について議論した。

第133回日本畜産学会大会（岐阜大学、令和7年9月開催予定）での公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して～温暖化を防止する技術の最前線～」の開催準備について議論した。ハイブリッド開催形式、ウェビナー録画の取り扱い等が今後の課題として挙げられた。

獣医学分科会より検討依頼があったアニマルウェルフェア関連の分科会合同シンポジウムについて、開催する場合の内容、開催時期を議論した。畜産学領域と獣医学領域の観点の取り扱い、新しい視点の整理、対象とする聴衆の属性等について、今後議論を継続することとした。

日本繁殖生物学会のSRD公開オンラインセミナーの共催を今年度も検討中であることが木村委員長より報告された。後日、趣意書案を委員に回覧の上、了承が得られたら、共催とすることを確認した。

また、第26期畜産学分科会に関連した公開シンポジウムとして、令和6年5月11日に開催された繁殖生物学会のSRD公開オンラインセミナー、令和6年11月30日に開催された日本学術会議東北地区会議 公開学術講演会の情報が木村委員長より共有された。

B. 意思の表出（報告を念頭）の作成について

木村委員長より、意思の表出を発出する場合のスケジュールについて説明があった（今期における意思の表出は、原則令和7年9月末までの発出）。第6期/第7期科学技術・イノベーション基本計画、令和6年に改正された食料・農業・農村基本法等を踏まえて内容を検討することが確認された。畜産学の現状および骨子について広く意見交換を行った。今後、後藤委員を中心として検討課題・趣旨案を作成することとした。

（4）報告事項

- ・総会、幹事会、第二部会、食料科学委員会の活動報告
木村委員長より、各種情報が共有された。

(5) その他

- ・次回の分科会の開催は4月下旬から5月にかけて実施予定。

配信資料

1月27日事前配信：

00. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第5回）説明スライド
0. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第5回）議事次第
1. 食料科学委員会畜産学分科会委員名簿 更新版
2. 資料1：食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第4回）議事録要旨（案）
3. 資料2：公開シンポジウム（日本在来馬は、どこから来て、どこへ行くのか？）
4. 資料3：公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して」
5. 資料4：生命科学系円卓会議設置-250107

6. 資料5：【重要】日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会最終報告
7. 資料6：【重要】日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会最終報告ポイント
8. 資料7：別紙様式1意思の出書（畜産(学)の報告）

本分科会の開催にあたって、日本学術会議事務局第二部担当、増田能伸さんが陪席された。

以上